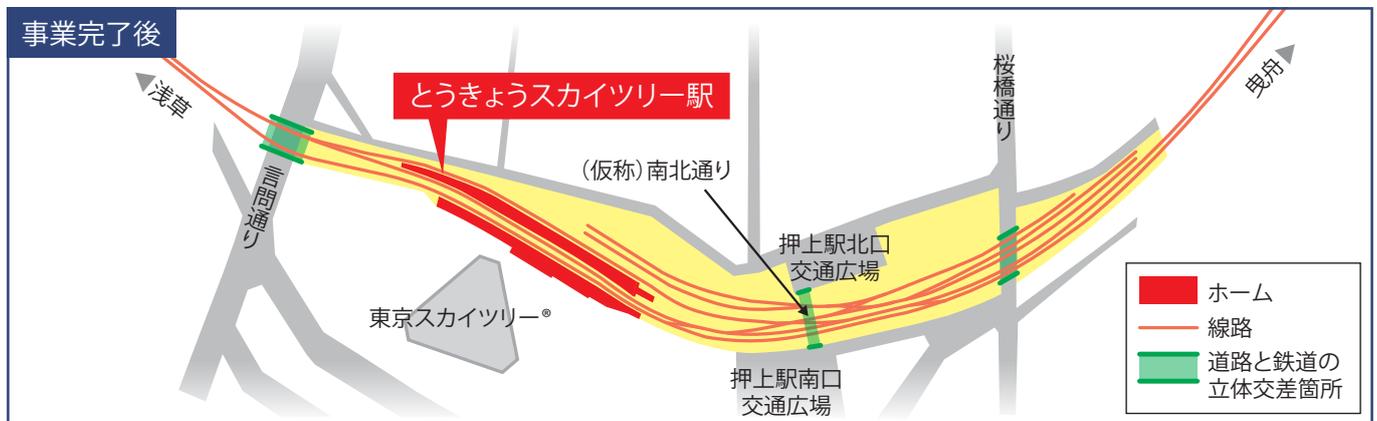
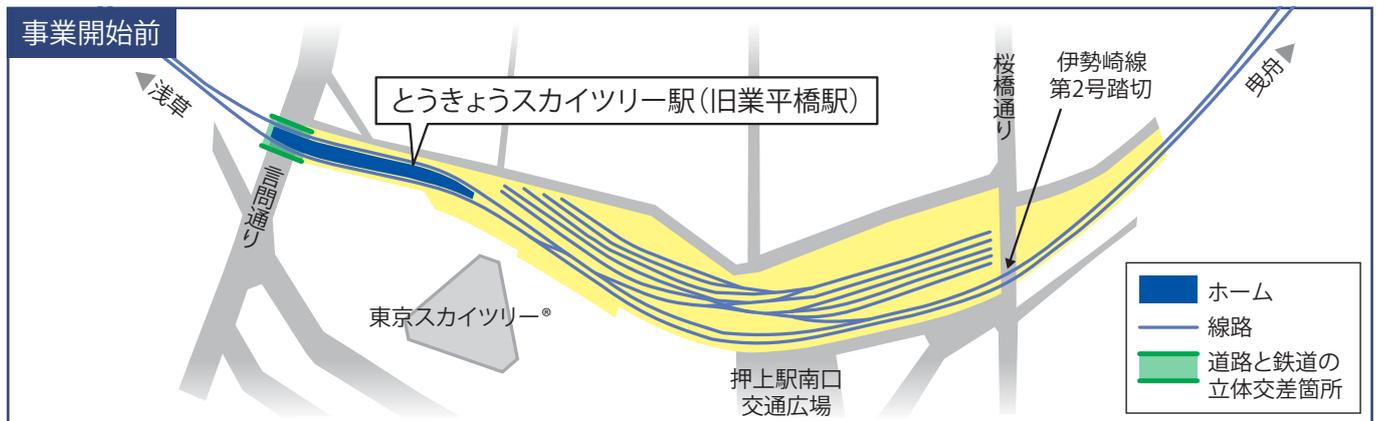


# 新駅舎案(1) — 全体計画・現駅舎 —

## ■ とうきょうスカイツリー駅付近の計画について

とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業は、令和3年8月現在、上り線(浅草方面行き)高架橋の工事を順次進めています。とうきょうスカイツリー駅付近は古くから高架化されていましたが、本事業によりホームを1面から2面に、線路を2線から3線にそれぞれ増やすことや、現在の高架橋を新しい耐震基準に対応させる工事を実施するため、現在の駅舎も高架橋にあわせて新しくなります。

また、現在駅のホームは言問通り付近にあります。鉄道を運行しながら新駅舎の工事を行うためには、ホームを工事に支障がない位置まで移す必要があるため、新しい駅舎は現在より東側(押上方面)に約150m移設する計画となっています。事業開始前、事業完了後の大まかな線路と駅の配置は以下の図のとおりです。



## ■ 現駅舎について

とうきょうスカイツリー駅は、平成24(2012)年まで長らく業平橋駅という名称でした。東京スカイツリー®開業を契機として、駅名はとうきょうスカイツリー駅に変更され、東武伊勢崎線には東武スカイツリーラインという路線愛称名が付けられました。(右の写真は平成30(2018)年7月頃の現駅舎です。)

その際のリニューアル工事によって、トイレが改修され、東京ソラマチ®側への改札や大型のエレベーター・エスカレーターも新たに設置されています。



撮影/東武鉄道

# 新駅舎案(2) — 新駅舎の概要 —

## ■ 新駅舎の計画について

新駅舎は、言問通り側と押上駅交通広場側のそれぞれへの利便性確保のため、駅舎は浅草方駅舎と曳舟方駅舎の2つに分かれており、各施設(エレベーター、エスカレーター、トイレ)も両方に設けます。

新駅舎の工事は、周辺の高架化工事の進捗を踏まえて、上り線(浅草方面)、下り線(曳舟方面)の順に段階的に整備していく予定\*で、令和3(2021)年10月以降に順次、着工予定です。

また、新駅舎の景観については、墨田区景観条例に基づき、墨田区の実施する公共事業として整備することなどから、景観アドバイザーなどとも打合せの上、調整していきます。

なお、建築物として駅舎のほか、鉄道施設の上屋やホームなども併せて整備していきます。

\*工事期間中の仮設の駅利用については別途、お知らせしていきます。

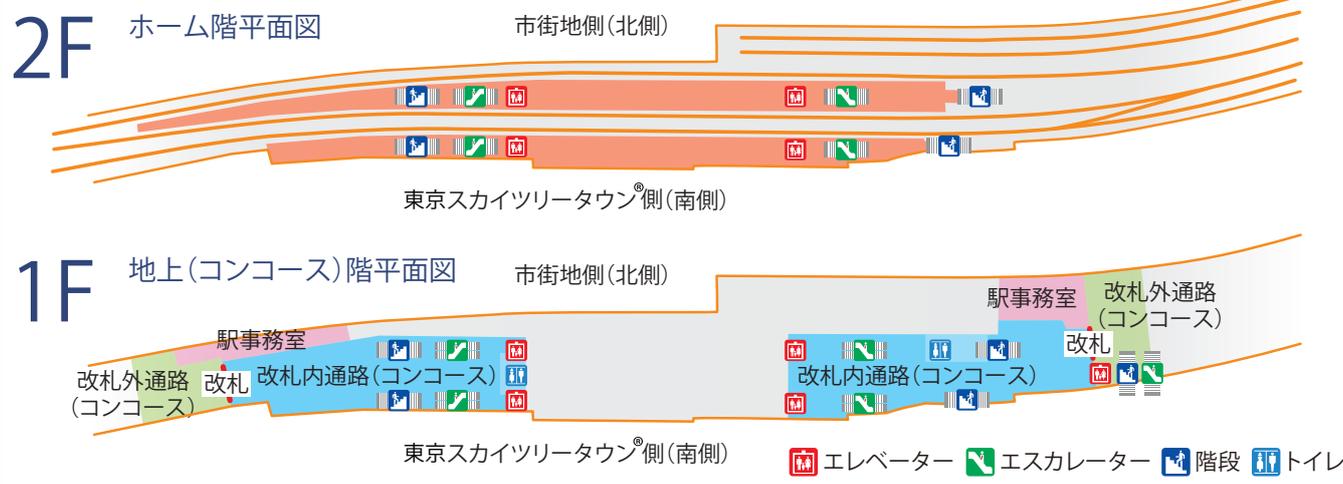
## ■ 新駅舎の建築概要(予定)

建設地	東京都墨田区押上一丁目2番1号
構造	鉄骨造
階数	地上1階建(2階はホーム)
駅舎高さ	約13m~14m

## ■ 駅施設比較表

施設項目	旧業平橋駅 (リニューアル前)	現とうきょうスカイツリー駅 (リニューアル後)	新とうきょうスカイツリー駅 (計画案)
エレベーター(EV)	1基	1基	5基
エスカレーター(ESC)	0基	1箇所	5箇所
改札機・改札数	4台・1箇所	2箇所	2箇所
トイレ	1箇所	1箇所	2箇所

### 新駅の平面図案



# 新駅舎案(3) — 計画図・縦横断図など —

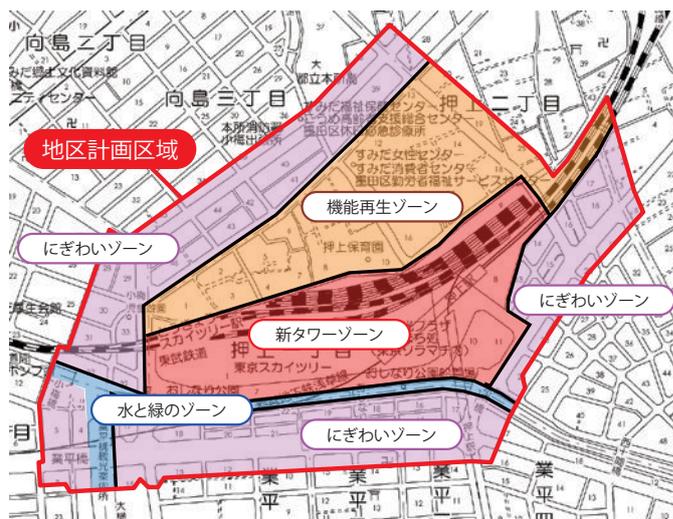
## ■ 新駅舎の設計について

これまで、新駅舎の骨格となる新駅舎建設地付近の高架橋工事を進めて、現地の状況を確認しつつ駅舎の設計を進めてきました。新駅舎付近のイメージ案は、現在検討している図面に基づき、浅草方駅舎と曳舟方駅舎、それぞれ以下及び次ページの図やイラストのとおりを予定しています。

今回のアンケートのご意見を参考としながら、区と東武鉄道(株)とで新駅舎の内容を調整していきます。

## ■ 新駅舎建設地の特徴

新駅舎は、押上・とうきょうスカイツリー駅周辺地区地区計画で定める区域内(右図のとおり)の新タワーゾーンにあることから、東京スカイツリー®や東京ソラマチ®などを始め、周辺と調和の取れた駅舎を目指していきます。



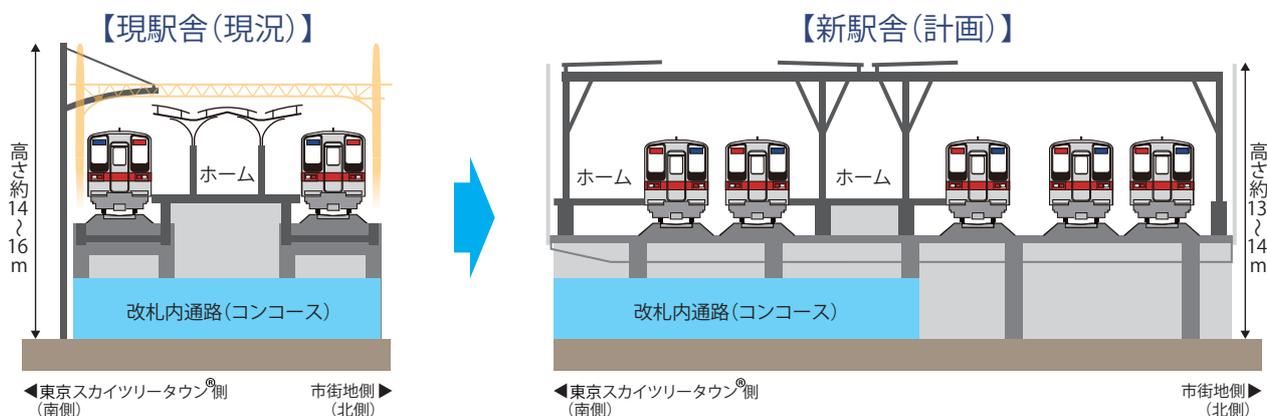
### 縦断図

※施設の位置がわかるように縦断図を合成したものです



### 横断図(現駅舎/新駅舎)

※いずれも駅部の一般的な断面です。



# 新駅舎案(4) — 新駅舎のイメージ案 —

## ■ 新駅舎のイメージ案

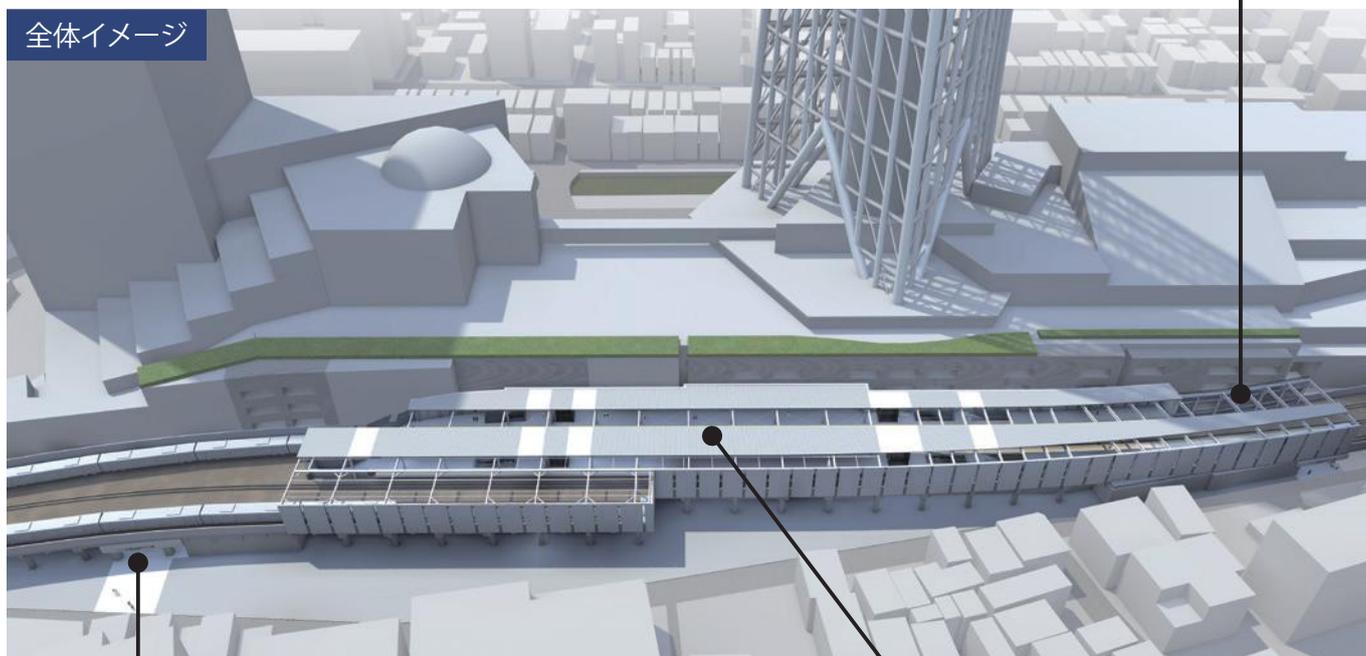
新駅舎の全体、2つの駅舎、ホーム付近のイメージは現時点で各イメージのとおりです。<sup>※1</sup>

なお、ホーム付近のイラストにはホームドアの記載がありませんが、新駅が段階的な整備となることから、別途設置時期が検討されていく予定です。<sup>※2</sup>

浅草方駅舎イメージ



全体イメージ



曳舟方駅舎イメージ



ホームのイメージ



※1いずれのイメージも計画中の図面を基にした現時点の案であり、変更の可能性があります。 ※2東武鉄道株式会社ホームページ「鉄道駅/バリアフリーに関する整備計画【都内駅】/令和2年5月29日」に基づく